



報道関係各位



2024年3月29日

ビール酒造組合

2024年春「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクト実施について

ビール酒造組合及び会員であるビール5社（アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・サントリー(株)・オリオンビール(株)）は、20歳未満の飲酒防止を目的として2005年より「STOP!20歳未満飲酒」プロジェクトを展開しています。

当プロジェクトは例年、4月と12月のキャンペーン期間中に「STOP!20歳未満飲酒」の広告の露出を高め、メッセージの認知向上と20歳未満飲酒防止の浸透を図っています。

ビール酒造組合が直近で実施した調査でも、20歳未満者のキャンペーン認知率は9割強で推移を続けており、20歳未満の飲酒率低減に貢献しているものと思われます。

① 4月広告展開

お酒は20歳以上であることを強調する広告デザインを主体に、少量飲酒の容認（少しのお酒くらいなら・・・と本人も周囲も考える）NGと自己判断の容認（若者の自主性に任せて・・・と大人が考える）NGのキャッチコピーを昨年に引き続きメッセージして参ります。また、4月月間で「STOP!20歳未満飲酒」についてYouTubeをはじめSNS等のデジタルメディアへの広告投入により、メインターゲットである20歳未満者と親世代を中心に告知を図る計画です。

② Webサイト 学習コンテンツ

STOP!20歳未満飲酒のWebサイトを昨年リニューアルし、10代のための学習コンテンツを拡充しました。キャッチーなイラストを用いたデザインに変更しただけでなく、学習指導要領に沿った内容に改訂しております。また、動画や理解度チェックテストは小学生向け、中学生・高校生向けを用意し、年齢に合わせて学習いただけるように工夫しております。学校の10代の飲酒防止教育の授業等で、学習コンテンツが利用されることを期待しております。

STOP!20歳未満飲酒 Web サイト <https://www.stop-underageddrinking.com/>

③ 店頭でのPOP掲出

コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア、カラオケボックス等の店舗内で「STOP!20歳未満飲酒」のPOP類をご掲出いただき、引き続き20歳未満飲酒防止の告知に取り組めます。

<協力団体>

一般社団法人 日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会

一般社団法人 日本ボランタリーチェーン協会、一般社団法人 日本カラオケボックス協会連合会



(別紙)

■ 広告メッセージ



「STOP!20歳未満飲酒」

「「ちょっとくらい」ならいい? 20歳まではゼツタイNG!」



「STOP!20歳未満飲酒」

「ことお酒については、「本人の自主性まかせ」じゃダメ!」

<主催>ビール酒造組合 <協賛> 日本洋酒酒造組合 <後援> 国税庁、厚生労働省、子ども家庭庁

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座 1-16-7 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <https://www.brewers.or.jp>